



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月13日

上場会社名 株式会社オプティマスグループ 上場取引所 東
 コード番号 9268 URL https://www.optimusgroup.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 信哉
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 嘉悦 清隆 TEL 03 (3456) 1764
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	19,729	0.0	1,003	△15.9	1,146	△12.9	758	△10.2
2018年3月期第3四半期	19,727	—	1,192	—	1,316	—	844	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 564百万円 (△42.6%) 2018年3月期第3四半期 983百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	142.21	141.26
2018年3月期第3四半期	167.83	164.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	21,411	9,850	46.0
2018年3月期	20,690	9,471	45.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 9,850百万円 2018年3月期 9,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2019年3月期	—	27.00	—		
2019年3月期（予想）				30.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,569	1.7	1,493	23.4	1,558	17.1	1,414	55.6	264.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名） Optimus Group New Zealand Limited

除外 1社（社名） コンパス・ロジスティクス株式会社

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	5,353,045株	2018年3月期	5,293,125株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	56株	2018年3月期	33株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	5,337,093株	2018年3月期3Q	5,029,413株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は引き続き拡大基調にあるものの、その勢いは鈍化しており、米中相互の関税引き上げ等の国際貿易をめぐる緊張の高まりや英国の合意なきEU離脱の可能性等先行きに対する懸念が強まっております。規模が世界最大のアメリカ経済は、中国との貿易摩擦により中国向け輸出の減少が見られるものの、雇用及び所得環境の改善を背景にした個人消費の増加に支えられ、景気は足元で堅調に推移しております。中国経済は、アメリカとの貿易摩擦の影響による景気の減速傾向が顕著に見られます。ニュージーランド経済は、政策金利の過去最低水準である1.75%の据え置きが経済の下支えとなっているものの、ニュージーランド国内での資源価格や労働コストの上昇により景況感に影響が出ております。

そのような状況のもと、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)における中核事業子会社である(株)日貿において、顧客であるニュージーランドのディーラーが仕入れコスト上昇の影響で購買スタンスが慎重になり、当第3四半期連結累計期間のニュージーランド向け中古自動車販売台数は23,950台と前年同期比14.6%減少となりました。

一方で、物流セグメントの中核事業子会社であるDolphin Shipping New Zealand Limitedのニュージーランドへの輸送台数については、前述の中古自動車販売台数の減少があったものの、カメムシ問題(注1)の影響により輸送台数が前連結会計年度から当第3四半期連結累計期間へずれ込んだこともあり、28,806台と前年同期比0.2%減少に留まりました。

サービスセグメントにおいては、Trade Cars Limitedによる「SmartBuy」(注2)の販売やAuto Finance Direct Limitedによる個人向け自動車ローン事業が堅調に推移し、サービスセグメント全体の規模拡大等に伴う人員採用による人件費の増加がありました。

検査セグメントにおいては、ニュージーランド向け中古自動車販売台数の減少により(株)日本輸出自動車検査センターにおけるニュージーランド向けバイオ検査(検疫)件数が70,248件(同15.1%減)となった一方、カメムシ問題対応のため2018年9月より開始したバイオセキュリティ熱処理システム検査(以下「熱処理検査」)件数が31,672件と好調に推移し、ニュージーランドにおける輸入車検を行うVehicle Inspection New Zealand Limitedの外注費や人件費の増加を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高197億29百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益10億3百万円(同15.9%減)、経常利益11億46百万円(同12.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億58百万円(同10.2%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(貿易)

前述のとおり、ディーラーの購買スタンスが慎重になったことによる中古自動車の販売台数の減少により、売上高は110億45百万円(前年同期比11.0%減)、セグメント損失は1億80百万円(前年同四半期は76百万円の利益)となりました。

(物流)

前述のとおり、売上高の大部分を占めるニュージーランド向けの輸送台数について、ニュージーランド向け中古自動車の販売台数の減少があったものの、カメムシ問題の影響により前連結会計年度から当第3四半期連結累計期間へ輸送台数がずれ込んだこと、また熱処理検査代金の売上高計上等により、売上高は36億11百万円(前年同期比6.3%増)となりましたが、前述の熱処理検査代金同額を原価計上したため、セグメント利益は5億19百万円(同6.0%減)となりました。

(サービス)

前述のとおり、「SmartBuy」による販売や個人向け自動車ローン事業が堅調に推移したこと等により、売上高は43億2百万円(同21.5%増)となりましたが、2018年9月に事業撤退したMD Distributors Limitedの在庫処分や規模拡大に伴う人員採用による人件費の増加等により、セグメント利益は40百万円(同54.5%減)となりました。

(検査)

前述のとおり、ニュージーランド向けバイオ検査(検疫)件数が減少した一方で熱処理検査の寄与等により、売上高は34億69百万円(同14.3%増)となり、ニュージーランドにおける輸入車検に係るコストの増加等を上回り、セグメント利益は6億16百万円(同15.2%増)となりました。

(注)1. 2018年2月にニュージーランドのオークランドに入港した日本発の自動車運搬船においてカメムシ(害虫指定のクサギカメムシ)が発見され、車両の荷揚げが制限された事象

2. 「SmartBuy」:当社子会社のTrade Cars Limitedが同じく当社子会社の(株)日貿から中古自動車を仕入れ、船舶輸送、輸入手続、コンプライアンスセンターへの配送、ニュージーランドにおける輸入車検等を組み合わせてパッケージとして販売する形態

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ0.0%増加し、163億17百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億90百万円、販売金融債権を含む売掛金が6億73百万円増加する一方、たな卸資産が9億14百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ16.5%増加し、50億94百万円となりました。これは主に検査セグメントにおける検査設備の増加等により有形固定資産が6億19百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3.5%増加し、214億11百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ5.3%減少し、101億40百万円となりました。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が7億53百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ175.6%増加し、14億20百万円となりました。これは主に長期借入金が9億28百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3.1%増加し、115億61百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4.0%増加し、98億50百万円となりました。これは主に配当金の支払額2億82百万円と親会社株主に帰属する四半期純利益7億58百万円により利益剰余金が4億76百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年12月14日の「2019年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,414,220	4,704,607
売掛金	8,102,279	8,775,950
たな卸資産	2,364,550	1,450,542
その他	1,540,707	1,463,574
貸倒引当金	△104,415	△76,919
流動資産合計	16,317,342	16,317,756
固定資産		
有形固定資産	3,744,009	4,363,131
無形固定資産	90,271	131,390
投資その他の資産		
その他	607,017	667,434
貸倒引当金	△67,958	△67,901
投資その他の資産合計	539,058	599,532
固定資産合計	4,373,339	5,094,054
資産合計	20,690,681	21,411,811
負債の部		
流動負債		
買掛金	367,394	320,993
短期借入金	7,910,480	7,279,090
1年内償還予定の社債	53,400	53,400
1年内返済予定の長期借入金	1,128,252	1,006,365
未払法人税等	118,583	208,324
賞与引当金	75,004	23,304
その他	1,050,070	1,249,262
流動負債合計	10,703,185	10,140,740
固定負債		
社債	132,500	105,800
長期借入金	90,538	1,018,876
退職給付に係る負債	131,450	146,848
その他	161,113	149,319
固定負債合計	515,601	1,420,843
負債合計	11,218,787	11,561,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,104	431,100
資本剰余金	1,826,462	1,874,458
利益剰余金	7,990,266	8,467,079
自己株式	△80	△126
株主資本合計	10,199,752	10,772,511
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△727,858	△922,284
その他の包括利益累計額合計	△727,858	△922,284
純資産合計	9,471,894	9,850,227
負債純資産合計	20,690,681	21,411,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	19,727,209	19,729,352
売上原価	15,211,593	15,380,441
売上総利益	4,515,615	4,348,910
販売費及び一般管理費	3,322,825	3,345,582
営業利益	1,192,789	1,003,328
営業外収益		
受取利息	61,955	55,905
為替差益	115,126	97,832
持分法による投資利益	12,363	5,643
その他	78,374	80,476
営業外収益合計	267,819	239,857
営業外費用		
支払利息	110,414	95,740
その他	33,696	1,225
営業外費用合計	144,111	96,965
経常利益	1,316,498	1,146,221
特別利益		
固定資産売却益	1,356	5,328
関係会社清算益	7,231	—
特別利益合計	8,587	5,328
特別損失		
固定資産除売却損	—	17,191
特別損失合計	—	17,191
税金等調整前四半期純利益	1,325,086	1,134,358
法人税等	481,007	375,394
四半期純利益	844,079	758,964
親会社株主に帰属する四半期純利益	844,079	758,964

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	844,079	758,964
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	139,214	△194,058
持分法適用会社に対する持分相当額	326	△367
その他の包括利益合計	139,541	△194,426
四半期包括利益	983,620	564,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	983,620	564,538
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、Optimus Group New Zealand Limitedを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、当社連結子会社であったコンパス・ロジスティクス株式会社は当社に吸収合併され、消滅会社となったことから、連結対象から外れております。なお、特定子会社には該当しませんが、当第3四半期連結会計期間において、Optimus Group Australia Pty Ltdを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号(金融商品)及びIFRS第15号(顧客との契約から生じる収益)を適用しております。

当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,725,852	2,948,478	3,503,000	2,549,877	19,727,209	—	19,727,209
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,682,323	449,602	38,564	486,403	2,656,894	1,013,903	3,670,797
計	12,408,175	3,398,081	3,541,565	3,036,281	22,384,103	1,013,903	23,398,007
セグメント利益	76,774	553,002	87,960	534,898	1,252,637	200,316	1,452,954

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社のものです。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,252,637
「その他」の区分の利益	200,316
セグメント間取引消去	△260,164
四半期連結損益計算書の営業利益	1,192,789

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,523,701	3,206,502	4,240,737	2,758,412	19,729,352	—	19,729,352
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,522,127	405,235	61,446	710,601	2,699,410	1,086,968	3,786,378
計	11,045,828	3,611,737	4,302,183	3,469,013	22,428,763	1,086,968	23,515,731
セグメント利益又は損失 (△)	△180,899	519,951	40,014	616,066	995,133	277,345	1,272,478

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社及び地域を統括する中間持株会社のOptimus Group New Zealand Limited、Optimus Group Australia Pty Ltdのものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	995,133
「その他」の区分の利益	277,345
未実現利益の調整額	54,139
セグメント間取引消去	△323,289
四半期連結損益計算書の営業利益	1,003,328

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。